令和８年度　授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）１年　学校番号　３３０　練馬区立大泉学園中学校

	課題分析	授業改善策
国語	授業アンケートでは国語の学習に関して興味をもっている生徒が９割程度いたが、学習の定着に関して定期考査では知識･技能の分野で数値が低いなど課題が残った。ICT の活用や学習方法の拡充などの改善が必要である。	・国語の関心を活かし、学習の定着のため身近な話題を提示して学習と紐づけていく。 ・映像教材などを使用し、生徒に多角的視点から国語の知識を身に付けさせる。
社会	授業アンケートより授業に意欲的に参加する生徒が９割を超えていたが、思考力・判断力・表現力の定着に課題がある。話し合い活動では意見を述べる生徒に偏りが見られた。授業ごとに理解できたことを自分の言葉で表現する振り返りを行ったが、さらに思考力を活用する課題の提示が必要である。	・１単位時間において、１つの概念的知識の習得を目指す。そのために授業内容を精選し、話し合い活動を通して概念的知識の習得ができるよう構成する。 ・授業ごとの振り返りを資料の読み取りや話し合い活動の問いと関連させ、さらなる思考力の習得を促す。
数学	授業アンケート等から、教師や仲間の説明を聞いたり、交流活動を行ったりすることで理解を深める生徒が多く見られる。一方で、中学校で初めて学ぶ内容や、自分の考えをまとめて表現する場面では理解や思考に個人差が見られるため、生徒一人一人の理解度に応じた支援や、自ら考え、表現する時間を確保した指導を充実させる必要がある。	・課題提示後は、自分の考えを整理する時間を確保し、まずは一人で考える習慣を身に付けさせる。 ・ペアやグループで考えを伝え合う活動を取り入れ、自分とは異なる考え方に触れながら、考えを深めたり、説明する力を育んだりする。 ・生徒一人一人の理解度を把握し、必要に応じて発問や支援を工夫することで、基礎・基本の確実な定着を図る。
理科	授業アンケート等では、授業への興味関心が高く、前向きに取り組んでいる生徒が多い。また、スライドを用いて説明した後に振り返りながらノートにまとめる流れや、Kahoot!を用いた復習は生徒自身も学習効果が高いと実感している。一方で、実験やその後の考察を行う機会が少なく、考察の書き方などについて難しさを覚えている生徒が多いことが課題として挙げられる。	・実験活動を計画的に取り入れ、観察や実験を通して科学的に考える機会を増やす。また、予想･実験･結果･考察･振り返りの流れを意識した授業展開を行い、生徒が主体的に課題解決に取り組めるようにする。 ・実験結果をもとに、考察する活動を充実させる。考察の書き方等を具体例を示しながら段階的に指導し、科学的に表現する力の育成を図る。
音楽	授業アンケートで、興味や関心をもつことができる、授業に意欲的に取り組めると回答している生徒がどちらも９割以上である。一方で、自信をもって表現できる生徒を増やしていくことが課題である。	・知覚感受に関しての意識や言語化、表出に関しての技能をさらに高めるため、話し合い活動などで知覚したことの共有・認め合いの場面を増やす。 ・また、音や表現の違いに気付かせるため、静かな環境で聴取の場面を増やす。
美術	授業アンケートから、興味関心をもてる生徒やわかりやすいと答えている生徒どちらも ９ 割を超えている。 制作に苦手意識のある生徒への指導や、関心を高めることに課題がある。また、グループ活動やテストへの取り組みへの意識の差にも課題が見られる。	・グループ活動や話し合い活動を増やし、対話的な学びを増やす。 ・苦手意識がある生徒には理解するきっかけをつくれるように、わかりやすい声掛けを工夫する。 ・定期考査への取り組みの意識を高めるために具体的な指導を増やす。

保健体育	授業に積極的に取り組もうとする生徒が多いが、技能の定着度としてはまばらなところがある。 活動に対し受け身な生徒が多く、自発的に取り組むためのしくみ作りが必要である。	・運動種目の特性を考慮しつつ、ウォーミングアップや補強運動のなかで基本的な技能につながる動きを増やしていく。 ・課題を見付け、その課題の解決に向けて取り組み、技能の定着度を評価し合うなど、学び合う時間を確保し、自発性を磨いていく。
技術・家庭	【技術】 7割の生徒が授業や実習に意欲的である。授業と定期考査での知識定着に課題がある。	・授業内で学習内容を再確認する時間を設ける。話し合い活動や実習でのグループワークを通じ、生徒同士で授業の内容や実習の指示内容を補完し合える環境を作る。
	【家庭】 授業評価アンケートでは興味関心が高く、授業に前向きに取り組んでいる生徒が多い。 実習では、班で協力しやり遂げることができていたが、個人では進めることができていない生徒がいたため、授業の工夫、改善が必要である。	・今後の生活に活用できるよう、協働的な学びにつなげていく。 ・実習を多く行いたいとの前向きな意見があるため、安全に実習を行える指導をした上で行っていく。
外国語（英語）	・ペアワークやグループワークに積極的に取り組む生徒が多いが、学力の定着に差が見られる。授業中にできた問題でも単語が変わると解けなくなる生徒も多く、書く技能に課題が見られる。	・聞いた内容の書き取りなど、書く技能を結び付けた活動を取り入れる。 ・教員が説明を行うのではなく、生徒同士で教え合う時間を設定することで、全体的な学力の定着を図っていく。 ・毎時間書く活動を必ず取り入れる。